

社会教育ガイド

2月の中央公民館事業 〈会場は中央公民館〉

■**絵画教室**
期日 2月10日(月)、2月24日(月)
時間 午前10時
講師 上野 キミ氏

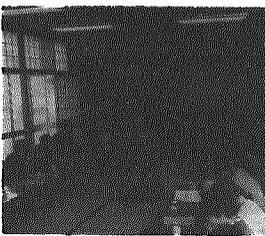
■**家庭教育学級、婦人大学(合同)**
期日 2月26日(木)
時間 午後1時30分
内容 閉講式

■**高齢者大学**
期日 2月27日(木)
時間 午前10時
内容 午前 講演
午後 クラブ活動
講師 竹村チヨ子氏

村中央公民館では、俳句作品を公募しています。
昨年一月から十月までの年間総合成績も一月十九日の新春俳句大会の席上、発表、表彰され、結果は次のとおり。

第一位	谷 井 野 武 士
第二位	坪 谷 耕 雨
第三位	神 田 恵 子
第四位	市 村 横 雲 子
第五位	今 井 天 花
第六位	佐 藤 志 残
第七位	坪 谷 志 残
第八位	坪 谷 志 残
第九位	細 山 斗 子
第十位	細 山 斗 子

俳句作品年間総合成績



盛会だった新春俳句大会

平成四年新春俳句大会が一月十九日、村中央公民館で開催されました。
午前十時から席題や一句競詠を取り組み結果は次のとおり。

第一位	小 林 竹 生
第二位	坪 谷 耕 雨
第三位	伊 藤 吉 作
第一位	神 田 斗 子
第二位	田 中 創 芳 子
第三位	伊 藤 吉 作
第一位	谷 井 野 武 士
第二位	石 井 一 夫
第三位	高 橋 一 夫

席題総合一位に小林竹生さん 平成4年新春俳句大会

俳句

句題 雲・湯豆腐・冬枯

第一位	半坪の 店を上げて	みぞれ市
第二位	冬枯や 土工飯場の	廃車バス
第三位	雲降る 五十年目の	開戦日
第四位	冬枯の 中洲に残る	漁師道
第五位	湯豆腐に 土工としての	今日終わる
第六位	注連古りし 神の櫓も	冬枯るる
第七位	只今の 声で湯豆腐	温たれる
第八位	冬枯の 町に買物	定まらず
第九位	冬枯の 一湾に揺れる	杜囃篋
第十位	雲降る 牛に敷藁	抱いて足す

(公募作品 高名句者)

第一位	みぞれ市	渋谷 実生
第二位	廃車バス	小林 竹生
第三位	開戦日	坪谷 耕雨
第四位	漁師道	坪谷 耕雨
第五位	今日終わる	細山 両子
第六位	冬枯るる	坪谷 耕雨
第七位	温たれる	坪谷 耕雨
第八位	定まらず	長谷部 静恵
第九位	杜囃篋	石井 樂秋
第十位	抱いて足す	高橋 鴉子

家族で考える クロスワードパズル 当選者発表

一月号に家族で考えるクロスワードパズルを掲載したところ、61名の応募があり、正解は、横越村と姉妹村である「みほむら」でした。
応募者全員が正解でありましたので、厳正な抽選の結果、次の方々が当選されましたので、賞品の発送をさせていただきます。

- 当選者
- 横越 神田 優太、渡辺 勝利、河内 貴子
 - 谷内田 トミエ
 - 羽田 陸
 - 長谷部京子
 - 二本木 阿部 恵美子
 - 小杉 阿部 孝子
 - 駒込 阿部 範子

○本を返す時
カード箱から自分の借りた貸出カードを取り出し、返本月日を記入して、本の裏表紙にある袋に入れて本を本棚に納める。
どうぞ、ご利用下さい。

○巡回図書利用方法
本の裏表紙から貸出カードを取り出し、地区名、氏名、借りた月日を書いて、カードは、カード箱に入れておく。

中央公民館では、三月までに次の施設に巡回移動図書の設置を予定しています。
○小杉地区 小杉コミュニティセンター(設置済)
○沢海地区 横越村農村環境改善センター
○二本木地区 横越勤労者体育館センター
〈巡回図書利用方法〉
○本を借りる時
本の裏表紙から貸出カードを取り出し、地区名、氏名、借りた月日を書いて、カードは、カード箱に入れておく。

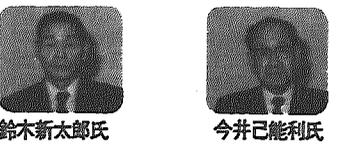
地域に本がやってくる 中央公民館巡回移動図書

「横越花火」物語 曾我 広見
私は、昭和八年に上京したので、それから戦後までの花火は、全く見ていない。昭和時代になると横越神社の秋祭りにも花火を上げなくなったようである。こうして時代が進むにつれて花火に関しては、むしろ村民生活から遊離していったように思われる。
国の祝事や村の大きな行事等の場合は、わずかに祝砲の意味の花火又は、開催の有無を知らせる花火として昼間に限りまれに打ち上げられ夜の花火は、いつか忘れられてしまったようである。
こんな状況の中の救いは、横越村が新潟市の近郊に位置していることで、戦後、新潟の「川開き」行事が復活して容易に見物出来るようになった。
かつては横雲橋の橋祭りの花火として周辺の町村の話ともなっていた「横越花火」はすっかり霞の彼方に埋没してしまつて古老の昔話の話にも登場しなくなったのが現状である。

「横越花火」物語 ③ 曾我 広見

選挙管理委員会体制固まる

委員長に今井己能利氏 同職務代理に鈴木新太郎氏



今井己能利氏



佐藤豊次氏

十二月三十一日で任期満了に伴い、小林廣次、村木信弥、小舟戸桂二の各委員のみなきが退任されました。
ところで、小林前委員長は昭和三十三年に選挙管理委員に就任、昭和四十三年からは

同委員長に就任し、昭和六十年には、自治大臣表彰、平成元年には、内閣総理大臣表彰を受賞されております。
この三十四年の有数の間、豊かな経験と卓越した感覚で村長選挙における記号式投票制度の採用や選挙公報発行条例の制定、公営ポスター掲示場の設置など常に先取り施策を手がけるなど多年にわたる選挙の管理執行に精励されました。
また、選挙制度の研究及び普及等民主政治の確立に尽力されました。
小林前委員長をはじめ退任された委員のみなさん、ごくろうさまでした。
なお、一月九日に選挙管理委員会を開催した結果、委員

長に今井己能利氏、同職務代理に鈴木新太郎氏が選任されました。
○委員
佐藤 豊次(横越・新)
高橋 悦朗(沢海・新)
今井 己能利(木津・再)
鈴木 新太郎(小杉・新)
○補充員
高橋 正二(横越・新)
小武 孝栄(駒込・新)
藤田 良三(沢海・新)
村木 信弥(二本木・再)
〈選挙管理委員会の職務〉
選挙が公明かつ適正に行われるように選挙人の政治意識の向上に務め、選挙に關し必要な事項を選挙人に知らせることが主な職務になっています。

一日二円の交通災害共済に家族みんな加入を

多発する交通事故、昨年県下の交通事故、発生件数は前年比二・六％増の一、七〇七件、死亡者数は二・三％増の二七〇人と、平成元年に次ぐ多発となりました。
村では、一人年額三五〇円の掛金で、最高百万円の見舞金が支給される「新潟県交通災害共済」の加入を呼びかけています。
万一の事故に備え、家族みんな加入を促すようお勧め

も同額) 共済期間：毎年四月一日から翌年三月三十一日迄です。
見舞金：見舞金の請求は、事故発生の日から一年以内です。故発生の日から一年以内です。故発生の日から一年以内です。故発生の日から一年以内です。
加入手続き：二月中に嘱託員を通じて平成四年度の申込書を配付しますので、一人三百五十円を添えて申し込んでください。

見舞金は

等級	災害の程度	金額
1等級	死亡した場合	1,000,000円
2等級	自賠責施行令別表の等級区分の1級各号に掲げる障害の場合	700,000円
3等級	治療を要した期間が6月をこえ、かつ、入院14日以上を含む実治療日数90日以上のも	150,000円
4等級	治療を要した期間が5月をこえ、かつ、入院21日以上を含む実治療日数75日以上のも	120,000円
5等級	治療を要した期間が4月をこえ、かつ、入院7日以上を含む実治療日数60日以上のも	100,000円
6等級	治療を要した期間が3月をこえ、かつ、入院7日以上を含む実治療日数45日以上のも	80,000円
7等級	治療を要した期間が2月をこえ、かつ、入院7日以上を含む実治療日数30日以上のも	60,000円
8等級	治療を要した期間が1月をこえ、かつ、入院7日以上を含む実治療日数15日以上のも	40,000円
9等級	入院通院の実治療日数7日以上のも	20,000円

転入・転出手続きはお早めに

毎年、三月、四月は、入学就職、転勤などで転入・転出の多い月です。
転入・転出の届出は大切な手続きですので早めに行ってください。
なお、いずれの場合も印鑑を忘れずに持参して下さい。
〈転入届〉
横越村に引越してきてから十四日以内に世帯主又は、本人が届出を。
前の住所地の市町村で発行した転出証明書、年金手帳(加入者のみ)の持参を。
〈転出届〉
横越村外に住所を移す時は届出を。
年金手帳、国民健康保険証(加入者のみ)の持参を。
〈転居届〉
村内に住所を移した時は、十四日以内に届出を。
転出届と同様に必要書類の持参を。
〈世帯主変更届〉
死亡、転出、転居などで、世帯主変更が生じた時は、十四日以内に届出を。
おたずねは、役場住民課へ

ご協力に感謝します

収入の部

区分	金額(円)
歳末たすけあい募金目標額	550,000
歳末たすけあい募金実績額	697,700
前年度繰越金	75,164
社会福祉協議会繰出金	35,958
収入合計	808,822

支出の部

種別	施設(世帯)	対象者(人)	配分額(円)
養護老人ホーム	2	3	6,000
特別養護老人ホーム	5	10	20,000
身障者療養施設	1	1	2,000
精進者厚生施設	3	4	8,000
重症身障者施設(療養所)	2	3	6,000
救護施設	1	2	4,000
医療保護施設	7	17	34,000
養護学級	2	3	6,000
身障者(児)	43	43	215,000
低所得世帯	3	3	9,000
一人暮らし老人	30	30	150,000
ねたきり老人	30	30	150,000
ねたきり老人介護者	30	30	150,000
事務費			48,822
支出合計		179	808,822

皆様からご協力いただき、歳末たすけあい募金に付きましては、お蔭様で目標を達成できました。
深く感謝申し上げます。
浄財は、左記のとおり百七十九人の方を対象に二千元から五千円の慰問金を渡し大変喜ばれました。
今後ともよろしくお願いいたします。